

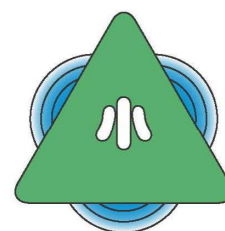
# 鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和5年度 学校報 No.25 文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和5年11月3日



## 鳥海小学校 70周年

ありがとう！！  
おめでとう！！

平成25年4月1日に全校189名で鳥海小学校が開校し、4月13日（金）に開校式が挙行されました。開校式は4月13日ですが、この年は4月5日（金）に新任式・始業式、4月8日（月）に入学式、4月9日（火）に地域子ども会、4月10、11、12日に身体測定、4月11日（木）は避難訓練も実施しています。かなり過密スケジュールな一週間の結びに開校式を実施していることから、先輩たちが鳥海小学校の始動に熱い思いをかけたことを感じます。

右の資料は、平成25年の卒業アルバムからの引用です。たくさんのご来賓のご臨席のもとに、畠山隆校長先生が校旗を拝受し、ご来賓のあいさつ、児童代表あいさつ、校歌合唱と鳥海小学校の門出をお祝いしている様子が伝わります。



開校の年の児童数は、1年生25名、2年生24名、3年生30名、4年生27名、5年生36名、6年生38名という内訳でした。今は15名前後で使っている教室を30名前後、高学年は35名を超える人数で日々を生活していたのですから、さぞかしにぎやかだったことでしょう。それぞれの地域に向いて体験を通じてふるさとを学ぶ「きらりタイム」、縦割り活動の「鳥海キッズ」も初年度から始まっています。私たちは先輩たちが土台を作ってくれたおかげで、鳥海の文化や産業を体験することを通じて、鳥海にある「もの」「こと」を知り、人と出会い、自分の今と将来をつないで考え、わかり合うことや助け合うことを学んでいるように思います。

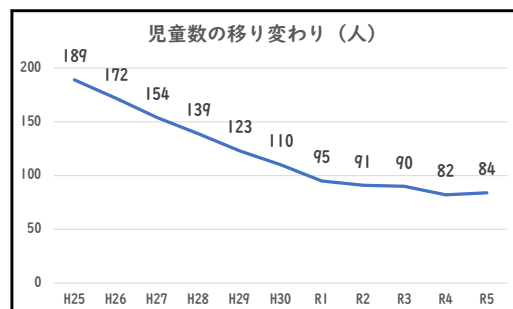
「平成25年度鳥海小学校卒業アルバム」より



直根・川内・笹子の小学校の場所

今年度の全校児童数は平成25年時に比べ、半分以下の84名まで減少しました。児童数減少は鳥海地域に限った課題ではありません。令和5年度の鳥海小学校は、一人一人に学びを保障していくことを最重要課題と考えるところです。

記念式典では、84名の一人一人が、地域の皆様に10周年を迎える感謝の気持ちと鳥海小学校への「ありがとう」と「おめでとう」を気持ちを込めて一生懸命に歌い、全校群読を披露します。よろしくお願いたします。



# 6年生がまとめた鳥海小の歴史あれこれ

～「きらりタイム」の学習から～

## 校章の由来

校章の由来を調べようと思った理由は、ふだんあまり気にしないからです。創立10周年の機会に、全校に知ってもらいたいと思って、調べました。

鳥海小の校章は、地域のシンボルである鳥海山を中心に、周囲の丸は清流を意味しています。さらに、その丸が三層になっているのは、**教師・児童・保護者の三者が一体となり、それに、地域の人々と自然とつながっている様子**を表し、すばらしい学校になるようにイメージされたものなのだそうです。



### 感想

校章はふだんから意識したことなかったのですが、この機会に校章の意味を知ることができてよかったです。これからは校章の意味も気にしながら生活して生きたと思いました。

6年 小沼

### 参考文献

・学ぶんポータル

URL <https://edu2.city.yurihonjo.lg.jp/chokai-es>

## 突撃! 笹子小 教えて八千穂先生

ぼくは、笹子に住んでいて、同じ笹子の小学校のことが知りたくなり、笹子小に勤務していた八千穂先生にインタビューをしました。

インタビューをしてみてください

まず最初に、「学校を代表する行事」を聞いてみると、餅つき、じねんこ祭り、運動会など沢山ありました。ぼくは、なべっこ遠足をやってみたいです。

つぎに、「全校の人数」を聞いてみると、クラス約50人いて全校で約300人いたそうです。

また、思い出に残っているエピソードでは、「教室の真ん中にストーブがあった」「冬は牛乳が冷たいので、ストーブの上に洗面器を置いて、その中に水と牛乳を入れて温めた」そうです。「時々牛乳が漏れたり爆発した」時があったそうです。

行事について

笹子小があった時、屋上から桜や雛のぼりが見え、全校生徒で「雛のぼり弁当」を食べたそうです。中には団子など沢山の食べ物が入っていました。

運動会やほつき祭では、鼓笛隊をしていて、学年にあったレベルで指揮や太鼓、コーディオンなどを使っていたそうです。

6年生の役割

笹子小の6年生は、薪ストーブの薪を、薪小屋から持ってきたりしていました。今よりも大変な仕事があったのだと知ることができました。

笹子小に通っていた両親から

自分の両親も笹子小に通っていて、話を聞いてみました。雛のぼり弁当は美味しかったことや、鼓笛隊があったことなどを聞いて盛り上がりました。

感想

僕は笹子小学校のことをインタビューして、鳥海小学校にはない行事や6年生の仕事が凄く大変だと知ることができました。今はない笹子小学校のことをもっと知りたくなったので、また両親にも聞いてみたいです。

6年 今野



## 川内小学校 心に残った行事

ぼくは、鳥海小学校より前のことを知りたかったので、昔川内小学校に勤務していた佐々木先生に話をうかがいました。すると、「約30年前だからあまり覚えていないけど・・・」と言ってこの3つを出してくれました。

- ・運動会
- ・1年に1度の遠足
- ・マラソン大会



遠足では、バスに乗って県外などへ行ったそうです。マラソン大会では、ぼくたちより長いきりを走っていたそうです。

### 感想

ぼくは、川内小学校のことを調べて、ぼくも遠足に行きたいなと思いました。鳥海小学校の前のことを知る事もできたのでよかったです。ぼくの父が川内出身なので、そのころの学校の話を聞いてみました。中学校では、尺ハクラブというのがあったそうです。そのときに父が作った尺ハをふいてみて、面白かったです。そんなクラブが鳥海小にもあるといいです。



校務員の三船さんからは、閉校記念の祭りの話もうかがいました。1キロの道をおみこしを引いて歩いたそうです。

6年 佐藤

## 三船さんから聞いた 川内小の歴史

川内小学校の閉校記念誌を見て、どのような学校だったのか、どのような行事があったのか気になりました。そこで、川内小学校にゆかりのある、校務員の三船さんにインタビューしました。

川内小の主な行事

学習発表会や松皮もちづくり、なべっこなどいろいろな行事を行っていたそうです。なべっこでは、鳥海小とちがって、自分たちで買い出しにしたり作るものを決めたりしていたそうです。

閉校時には、祭りのようなものを行い、みこしをかついで川内小から紫水館までいったそうです。その距離は1キロほどだったそうです。

川内小の特徴と鳥海小開校当時

川内小の校舎は、鳥海小のように木で作られてはなかったそうです。鳥海小開校時は、とても木の匂いがしたそうです。各学年ごとにカメラやザリガニを飼っていたそうです。鳥海小には現在、金魚やどじょうがいて、三船さんがお世話をしてくれています。川内小にスクールバスはなく、歩いて学校まで登校していたそうです。

感想

川内小では、鳥海小でやっていない行事などがあり、ぼくもやってみたいと思いました。ぼくの親も川内小に通っていたので、小学生だったころ、何をしていたかなどを聞いてみたいです。また、川内小以外の、閉校した直根小・笹子小の学校についても調べてみたいです。

6年 佐藤





## 直根小について

直根小について調べたきっかけは、私の父が直根小に通っていて鳥海小とちがうところなどあるか気になったからです。そこで私は、直根小に先生としていた理恵子先生にインタビューしました。インタビューで、学校の魅力や、学校で一番大きい行事など色々聞いてみました。

学校の魅力は、全校児童の仲が良かったところだそうです。鳥海小も同じで、全校児童の仲が良いと言っていました。一番大きい行事は、そば祭りと言っていました。そば祭りは、みんなでそばを作って食べたそうです。他にも、3校合同で歌ったり、演奏したりする音楽祭があったそうです。行事ではないけれど、全校で法体の滝に行ったこともあるそうです。

直根小には鳥海小と似ているところや同じところがありました。それは、獅子舞をやっていたり、りんどうを育てていたり、伝統芸能(民俗芸能・猿倉人形芝居)をしている人がいたことです。

### 感想

私は、直根小のことを知らなかったのですが、インタビューしてみて鳥海小にはない行事や、似ているところなど知ることができました。初めて聞いた行事などがあってもっとくわしく聞いてみたいと思いました。



6年 真坂

## 閉校三校の校歌

### きっかけ

閉校した三校の校歌を調べようと思ったきっかけは、鳥海小の校歌と共通していることなどを知りたいと思ったからです。

私は直根小、川内小、笹子小の校歌について調べるために、インターネットや3校の閉校記念誌で調べました。

### 調べたこと

三校の校歌には、鳥海小と同じように「鳥海」という言葉は、入っているかを調べました。でも、鳥海という言葉は、入っていませんでした。その代わりに川内小には、「子吉鳥海」、直根小には、「鳥海山」となっていますが、笹子小には、「出羽山地」「笹子川」という言葉が入っていました。自然に関する歌詞が入っているのは、鳥海小もほかの3校にも共通しています。

校歌を作詞・作曲している人は、川内小は、作詩が竹内瑛二郎さん、作曲が小野崎晋三さんでした。直根小は、作詞が高橋亮吉さん、作曲が、小松耕輔さんでした。笹子小は、作詞が、川内小の作詩もした竹内瑛二郎さん、作曲が、笹子小学校作曲委員会でした。

### 感想

三校の校歌を調べてみて、共通しているところは、自然に関わることだということが分かりました。

6年 佐藤

### 鳥海小学校校歌

重島重孝 作詞 作曲

一、おおしく高き鳥海山を  
仰ぐ瞳もさわやかに  
体きたえて、いさゝきと  
かしこく学んで、みがきまう  
あ、鳥海小学校、おこやかに  
あふれる希望、歌おうよ

二、縄文の丘に、昔をしのび  
造りだす、語り合ひ  
笑顔やさしく、肩をくみ  
若い力で、助け合ひ  
あ、鳥海小学校、美しく  
友情の花、咲かそうよ

三、潮音たのしく、若船乗り  
子吉の川は、呼びかけり  
文化豊かな、ふるさと  
新たな明日を、築けよと  
あ、鳥海小学校、たくましく  
未来をめざし、はばたこう

## 小学6年生と中学3年生に聞いた 印象に残っている行事ランキング

### 1, 調べた理由

6年 本多

鳥海小学校10周年記念として、みんなが思い出に残っている行事は何かと気になり、学校を代表する6年生と中学3年生にアンケートをしてみることにしました。

### 2, アンケートの結果(6年生)

#### 1位 スキー教室、なべっこ

##### 理由

スキー……風が気持ちよかった。みんなで楽しくすべることができる。面白い。  
なべっこ……たわりの人たちと一緒に協力して作ることができる。  
全校で交流できる。みんなで豚汁を食べて美味しかった。  
4年間していないからまたやりたい。

#### 2位 運動会

##### 理由

応援練習のときは、大変だけれど運動会でしかあじわえない楽しさ・達成感があったから。  
リレーで大事なところで1位をとったから。

#### その他 そばうち、飛鳥祭、全ての行事



### アンケートの結果(中学3年生)

#### 1位 なべっこ

##### 理由

自分でつくることがなく、貴重な体験だったから。  
たわりレクがたのしかったから、協力して豚汁を作れて楽しかった。  
なべっこの後、全校で遊んだのが思い出に残っている。  
先輩と協力して楽しくできた。わくわく広場で食べたから。

#### 2位 そばうち

##### 理由

いちからそばを作り大変だったから、初めてそば作りをして初めて手話もして初めてのことがたくさんあって楽しかったから。

#### 3位 飛鳥祭、運動会

##### 理由

飛鳥祭……年上の人と交流ができて楽しかったから。  
縁日が楽しかったから。  
運動会……普段あまり聞かない先輩たちと接したりお話ししたりすることができた。  
全力で競ったりできたから。  
(6年生のとき運動会で)団長と一回仲間割れしてしまったが本番は最高の運動会になったから。



### 3, 調べてみて

今回ランキングを調べてみて、なべっこが一番みんなの印象に残っていることがわかりました。理由を書いていて、みんな普段あまり聞かない人たちと交流ができる行事が人気なことがわかりました。これからもこのような沢山の人と関わって印象に残るような行事が続いてほしいと思いました。アンケートのご協力ありがとうございました。



# 飛鳥祭テーマ 第1回と第10回

今年の飛鳥祭は、第10回です。  
 今年の鳥海小学校の飛鳥祭テーマは、  
**「十人十色 きらりの花を咲かせよう」**  
 です。第1回飛鳥祭テーマは  
**「全員主役 笑顔の花を咲かせよう」**  
 でした。第1回飛鳥祭テーマと第10回飛鳥祭テーマには、どちらにも「花」という言葉が入っています。「きらりの花」と「笑顔の花」はちがう花ですが、飛鳥祭への思いは変わっていないと思います。  
 また、「十人十色」には「一人一人がちがう意見や思い」という意味があります。「全員主役」にも一人一人という意味があると思います。だから、一人一人ということも共通していると思います。  
 飛鳥祭は毎年ありますが、第1回と第10回のテーマに共通している言葉や意味が入っていることは偶然だったので、調べてみて驚きました。今年のテーマ「十人十色」は鳥海小学校が10周年記念なので、「十」と入っている「十人十色」ということわざにしました。

わたしは、企画委員として、飛鳥祭が成功するように、開会式でハキハキと話したいです。10年続いた飛鳥祭が、この後もずっと続いてくれると嬉しいですね。そのために、伝統を引き継いでいってほしいと思います。



6年 佐藤

# からうすからみ徹底調査

ぼくは、兄が小学校、中学校と民俗芸能の学習で貝沢からうすからみをしていたので、やってみたくて5年生から始めました。そして貝沢からうすからみについてインターネットで調べました。

## からうすからみとは

からうすからみとは、解揚き臼を中心としてその周囲を四人の舞手がからみ棒を持って、臼の餅をつくかのように棒を突き、さらに臼の縁をからみながら、飛び跳ねたりまた棒をぶついたりする舞のことで、ぼくは跳びはねるのが苦手なので映像で見た人たちは**どれだけすごいのか**を感じる事ができました。

地域に伝承されている獅子舞番楽の演目にもあることから、これだけが単独に伝承されたものだとはいわれています。

からみをするときには民謡が歌われるそうですがその曲は**土方節、船売り唄、白挽き唄**の3曲とされています。寛永年間(1624~1645年)に始められたといわれていました。矢島藩生駒氏の御前や神社の秋祭りに盛んに演じられたといわれています。伝承面では獅子舞番楽の系譜をひいているかのように、以前は長男だけに伝承されてきたといわれています。最近では**後継者がいない**ということで飛鳥祭で広めることが目標です。

## 感想

貝沢からうすからみを調べてみて、歴史はおよそ300年続いてきたことを初めて知りました。そして今この鳥海地域の伝統芸能として残っていることがすごいいいと思いました。なので貝沢からうすからみを飛鳥祭でがんばりたいです。

## 参考文献

文化庁地域伝統文化総合活性化事業 秋田民族芸能アーカイブス  
 URL <https://www.akita-minzoku-geino.jp/archives/ja/746/>



6年 小番

# 天神あやとりを徹底調査

6年 佐藤

## この記事を書いたきっかけ

私がこの記事を書いたきっかけは、5、6年生の民俗芸能学習で、天神あやとりを体験していて、天神あやとりについてくわしく知りたかったからです。

## 天神あやとりの由来

旧鳥海町笹子地区は雄勝町院内銀山と隣接しており、昔から産業経済・文化面が盛んに行われていました。昭和の初め、天神集落の佐藤義信が院内銀山を訪れた際、巡業に来ていた四国の巡業一座から「あやとり」の手ほどきを受け、集落の若者達に伝えたのが始まりとされています。

その後、独自の技を加えて作り上げたのが、現在演じられている「天神あやとり」であるそうです。昭和55年「天神あやとり保存会」が結成され、芸能の保存・伝承に努めています。

## 内容

舞手・囃子方(唄い手・太鼓大、小)・三味線・四ツ竹からなります。現在は、三味線・四ツ竹を吹いています。

舞手は半纏に棒を掛け鈴巻をし、座って両手にあや棒(長さ30cm、直径3cm)を手に持ち、このあや棒を床や肩につけ、左右に変換し、空中で振り替わたりする華麗な舞です。

唄は、「笹子小原節」であり、笹子地域の四季折々の美しさを称えたものであります。

## 感想

指導者の方にお話を聞くと、太鼓をたたきたい人が多く、天神会館のそばで個人練習をしていたのだと言っていました。これからは鳥海小の子どもたちで、伝統を引き継いでいってお手伝いをしたいと思います。

## 参考文献

秋田県由利本荘市指定無形民俗文化財天神あやとり保存会パンフレット



# 前ノ沢太鼓調査記

## 前ノ沢太鼓の歴史

前ノ沢太鼓ができるまで**道中太鼓**というものがあり、それは神社に**繻を奉納**する祭りの一貫だったそうです。

50年以上前に**3人**の人が太鼓の講習に行き道中太鼓を変化させ、前ノ沢太鼓が始まったとされています。鳥海小学校では、高学年が総合的な学習の時間「きらり」で民俗芸能を体験しています。日々、「未広太鼓」という曲を練習してきました。

## 感想

前ノ沢太鼓については、インターネットに情報がなく、民俗芸能の練習のときに指導者さんにインタビューをしました。僕は講習に行った人と会ってみたいと思いました。直根小学校の閉校記念誌を見ると、小学生のみんなも体験していたことが分かりました。これからは伝統を引き継いでいってほしいです。



6年 千島



飛鳥祭で大好評だった5年生・6年生「NEWSちょうかい」。そのニュースの情報源となる6年生のレポートでした。ご一緒に鳥海小学校の10年間を振り返ってみませんか。